

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・従来であればスペースは十分だが、コロナ禍ではソーシャルディスタンスが取りにくい。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・保護者の迎えや送迎、職員の休憩などが重なったときに職員が少なく感じるときがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		・よりよい支援が展開できるよう、支援以外の業務改善に取り組んでいきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者と懇談する機会を多くし、より良い意見や要望を反映していきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・今後、どの機関に外部評価を依頼するのかを検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・研修には業務として参加できるように配慮している。
適切 な支 援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に1回は支援会議を行い、本人と保護者の要望を聞き取り計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・スタッフに自分たちの支援に誇りと責任が持てるように支援の考え方を伝えていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動の基本の骨組みは自発管が作成し、細かな内容は職員間で話し合って決めて
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・様々な配慮はしているが長期休暇時などはマンネリ化してしまうので注意が必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・学校休校時の目標設定をすることで普段の放課後の課題、支援がおざなりにならないようにしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別活動と、集団活動が固定化することなく、みんなが挑戦でき、楽しめるように配慮している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・長期休暇時は早朝支援の必要な児童もいるため、打ち合わせの時間の工夫が必要。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・周知徹底のため出勤時には必ず、個別記録や会議録を確認してから業務にあたるように意識徹底する。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・連絡ノートを記入し、保護者と職員間で情報が共有できるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・3カ月に1回は必ず、保護者とともにモニタリングを行い放課後等デイサービス計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・創作活動、体操、運動、余暇（休憩）活動など、工夫して取り組んでいる。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達管理責任者が出席している。

関係 機関 や保 護者 との 連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・下校時間の変更や臨時休校などの情報は都度各学校より情報提供されている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・現在、医療的ケアの必要な利用者の受け入れを積極的にしていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		・契約後、利用開始してから必要に応じて各関係機関に聞き取りをしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・未だこのケースはいないが、発生した場合は適切に対応する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・利用者個々の困り感などは保護者、学校、各関係機関と情報共有し、解決に繋がるよう努力している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・併設の学童クラブの利用児童との共同行動も多々ある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今後は連絡をとり参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎時など短時間ではあるが利用者の困り感や課題、支援内容や方法など、保護者と共通理解できるように工夫している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・スタッフは、「ペアレント・トレーニングとは何か」から勉強する必要がある。
保護 者へ の説 明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・支援の内容はアセスメント時、計画作成時、モニタリング時に保護者と話し合い、説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・自発管が随時相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後計画していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・報告があった苦情に対して、その内容、解決方法等を書面に記載し、同じことを繰り返さないように職員に周知徹底している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「セレサキッズ通信」を発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・その都度、配慮し対応できている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			ハロウィンイベント時は地域住民を招待している。
非常	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		保護者向けは今後準備していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月1回のスタッフ会議時に研修を行っている。

時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		拘束の必要がある児童はお預かりしない方針だがマニュアルは整備していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食物アレルギーのある利用者のおやつは成分表を確認し、アレルギー食材が入っていないことを確認し提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット、事故報告は事業所内だけでなく法人内で共有している。